

# 小国わくわくワークショップ

～地域はもう一つの学校～

## 研究テーマ

キャリア教育を柱とした小・中・高一貫した取り組み  
～地域の教育力を活用して～

小国支援学校は、上記研究テーマのもと、地域の様々な教育力を活用した授業に取り組んできました。11月28日（土）に「小国わくわくワークショップ」を開催し、県内の学校に留まらず、九州圏内特別支援学校の参加者も含め、80名を超える参加がありました。

公開授業後のワークショップでは、学校職員、保護者、地域の方々がグループを編成し意見交換を行いました。その時の様子やそこで挙げられた声などをご紹介します。

## 小学部

### 生活単元学習「おしごと大作戦！2」

小国道の駅「ゆうステーション」からの依頼を受け、トイレのポスターを作成し、自分たちで設置に行きました！授業当日は、頑張ったことの発表、町の方々のビデオレターを見ることで、子ども達は人の役に立つ喜びを実感することができました。



## 中学部

### 総合的な学習の時間「小国郷にはっしん！みんなのわくわく窯」

地域の温泉旅館の方に作業製品の注文をいただき、作る皿の種類や色、用途について質問しました。自分たちの作った製品が使われている感想などをインタビューし、感想を聞くことで多くのお客さんに使われる喜びを実感することができました！



## 高等部

### 作業学習「キャリアアップ～実習をふりかえろう～」

現場実習において行った自己評価と、実習先の評価である他者評価を用いながら、その差やズレを確認していくことで今後取り組むべき事を知り、普段の学校生活の中での目標を立てました。授業ではビデオレターで事業所からの感想を聞くことができました！



## ワークショップ



## 全体会の様子



### 参加者からの声（多くのご感想を頂きました！）

- ・地域や保護者の方も一緒に、情報交換することで良いところや改善すべきところが見えたように思います。地域の特色を生かした取組を探し、活用できるようにしたいと思いました。
- ・わくわくするようなワークショップでした。グループの中に保護者、商工会、施設の方など様々な立場の方がおられ、地域の方から「どのような連携が図れるのか皆に呼びかけて考えていこう」という意見があり、素晴らしいと思いました。